



図書館員のおすすめ本



小学生

低学年（1・2年生向け）

『うんちしたのはだれよ!』

ヴェルナー・ホルツヴァルト 文, ヴォルフ・エールブルッフ 絵,

関口 裕昭 訳/偕成社



【内容紹介】

ある日のこと、もぐらくんが地面から顔を出したとき、事件は起こりました。

もぐらくんの頭にぼとりと落ちた茶色のソーセージみたいなもの……。

もぐらくんは叫びました。「だれだ、ぼくのあたまにうんちなんかしたやつは？」

【図書館員からのコメント】

「うんちしたのはだれよ!」というインパクトの強いタイトルですが、動物の“うんち”について思わず「へえ」と感心してしまう説明もあり、子どもも大人も楽しめる物語だと思います。

中学年（3・4年生向け）

『おかしなヒミツ研究所』

3時のおやつ科学機構著/えほんの杜



【内容紹介】

ガリガリ君、きのこの山、ハイチュウなど、人気お菓子をメーカーに直接取材し味や食感がどう作られているのかを科学の視点で解き明かしました。「なぜあの食感?」「どうしてあの味?」ふだん食べているおやつのウラ側を知れば、もっとお菓子が好きになる!調べ学習や自由研究にもぴったりの、おいしさのしくみを楽しく学べる図鑑です。

【図書館員からのコメント】

身近なお菓子にかくされている科学のヒミツがわかりやすく書いてあります。友達に教えてあげるのもいいかもしれません。おやつの時間がますます楽しくなる本です。

高学年（5・6年生向け）

『小学生のための星空観察のはじめかた 観測のきほんと天体・星座・現象のひみつ』

甲谷 保和 監修/メイツユニバーサルコンテンツ



【内容紹介】

星空観察をこれからはじめたいと思っているひとにピッタリの1冊です。天体望遠鏡や双眼鏡を使った星の見方や星座の探し方などが豊富な写真や解説で学べます。

星空を見る楽しみ方や観察の仕方、また、四季の星座の紹介も詳しく載っています。

【図書館員からのコメント】

夏休みを利用して、天体観測してみませんか? 夜空に浮かぶ星空や星座に思いを巡らせてみましょう。

中学生

『となりのヤングケアラー SOSをキャッチするには?』

村上 靖彦 著/筑摩書房



【内容紹介】

ヤングケアラーという言葉を知っていますか?

家事や介護をし、家族を支えて暮らす子どもや若者のことを言います。皆さんの周りにも、そんな状態を抱える友達がいるかもしれません。

苦労や孤独を相談できずにいるヤングケアラーのSOSをキャッチするには?

【図書館員からのコメント】

ヤングケアラーが身近にいたとき、また、自分がその状態になったとき、困ったことや孤独を相談するにはどうしたらよいか、考えてみましょう。安心できる「居場所」がヒントになるかもしれません。

『ときめくニッポン職人図鑑』

大牧 圭吾著/オークラ出版



【内容紹介】

この本には、31人の職人さんと31の工芸品が登場します。フルカラーで、イラストをふだんに使い、職人さんの仕事や思いなどを紹介します。他にも工房紹介、1日のスケジュール、作業着ファッションショー、職人さんになったきっかけなど。楽しく知って、心ときめく。学びと発見に満ちた1冊です。

【図書館員からのコメント】

日本の職人さんの技術の高さはもちろん、挑戦し続けている前向きな姿に感動します。また、ひとりひとりの個性やユニークな一面が紹介されているところもおもしろいです。皆さんの心ときめく職人さんを見つけてみませんか。

『歪みの国のアリス 真夜中のお茶会』

株式会社ナイトメアスタジオ原作 狐塚 冬里著 チェリ子イラスト /PHP 研究所



【内容紹介】

夕日が差し込む学校の自習室。その室内で目覚めた女子中学生の「葛木亜莉子」が出会ったのは、深くフードを被った怪しげな人物「チェシャ猫」だった。

「さあ、アリス、シロウサギを追いかけよう」

奇妙な世界に迷い込んだ亜莉子はわけもわからぬままチェシャ猫とシロウサギの行方を追うことになるのだが……。

【図書館員からのコメント】

ほの暗くて少し怖いお話ですが、アリスとチェシャ猫が奇妙な世界を冒険するお話でもあります。アリスやチェシャ猫以外にも魅力的なキャラクターが多いので、ぜひお気に入りの人物を見つけてみてください。